

群馬大学工業会・東海連合支部

第19回絵画鑑賞会

日時：2023年3月5日（日） 15：00－16：30

場所：愛知県美術館、名古屋市

参加者：新澤洋保（S42C）、阿部雅信（修S47C）、黒沢守（S56M）、清水堪蔵（S49C）の4名
* 阿部雅信さんは神戸市からの参加。黒沢守さんは初参加。（2009年の山歩き会から13年ぶりの参加）

岡本太郎展一（2023年1月14日～2023年3月14日開催）

岡本太郎さんは大阪万博の太陽の塔を設計・監修したことで、有名な画家で奇才である。大きな勢いがある、絵には圧倒される。その発想力はどこから生まれてくるのか絵を目の前にして、考えさせられる。会場には多くの絵や、太陽の塔などのミニチュア版が飾られていた。



会場内での記念撮影(若い太陽の塔の前で)



会場風景



岡本太郎の絵(明日の神話)



懇親会一嘉文にて 左から阿部さん、黒沢さん、新澤さん、清水

展覧会を鑑賞後の懇親会では、13年振りに再会した黒沢さんの話で盛り上がった。黒沢さんは数年難病の治療をしているが、最近かなり回復され今回参加できる事になった。また最近テレビの「なんでも鑑定団」に出て、ガレのガラス製品等のお宝を出品されたので、その裏話等を聞いて楽しかった。

(文責：清水堪蔵 世話役)